



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で
パーキンソン病と診断された方

【研究課題名】

横断的オミクス解析を駆使したパーキンソン病の病態解明および疾患バイオマーカーの探索
(大阪大学「脳血管障害及び神経筋難病の遺伝子解析研究」のサブタイトル)

【研究責任者】

望月秀樹（大阪大学大学院 医学系研究科 神経内科学）

【本研究の目的及び意義】

パーキンソン病について試料の様々な分子を解析し、コンピュータ上で疾患バイオマーカー（疾患の目印）の同定を行います。また他の神経疾患との遺伝的背景の類似性について調べることで単一の解析では得られなかった知見の獲得を目指します。

【本研究に提供する試料・情報】

全ゲノムシーケンス解析データ
年齢、性別

提供する試料の取得の方法：バイオバンクで広範同意を得て「がんや難病に関するゲノム医療の推進に必要な健常群・疾患コントロール群データの構築」のオプトアウトを経て全ゲノム解析を実施したデータ、情報

【研究期間】

承認後～2025年4月30日

【研究を開始する日】

2024年8月頃を予定しています。

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)